

仙台防災 未来フォーラム2016

国連防災世界会議から1年

仙台・東北から防災・減災の未来に貢献する

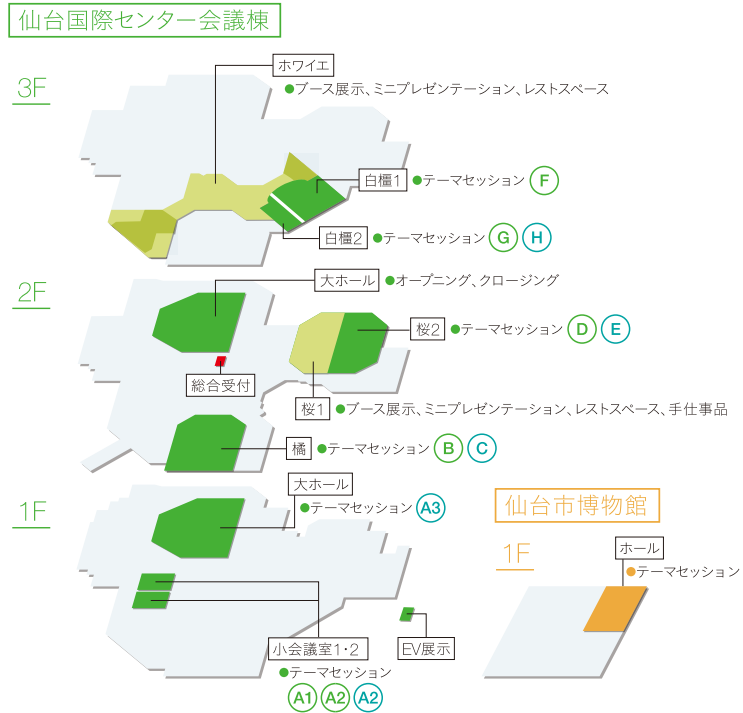
2016.3.12 sat
10:00~18:00

会場 / 仙台国際センター 会議棟
(一部 仙台市博物館1階ホール)

開催概要

仙台防災 未来フォーラム 2016

「第3回国連防災世界会議」の開催から1周年の機会に、仙台・東北で復興や防災・減災に取り組んできた市民、行政、研究機関の関係者等が集い、活動事例などを発表するとともに、国連防災世界会議で採択された国際的な防災指針である「仙台防災枠組2015-2030」を踏まえたそれぞれの今後の活動の方向性や課題を話し合い、仙台・東北から未来に貢献する防災推進のために、何ができるのかについて考え、発信します。



第3回国連防災世界会議について

2015年3月14日(土)～18日(水)に開催され、185カ国の政府代表団、政府間組織、NGO、国際機関等から6,500人以上が参加し、成果文書として「仙台防災枠組2015-2030」及び「仙台宣言」が採択されました。本体会議と合わせて行われた一般公開のパブリック・フォーラムでは、国内外の多様な主体による防災や減災、復興に関するシンポジウム・セミナー、ブース展示、ポスター展示、屋外展示などが行われ、延べ15万人以上が参加しました。また、歓迎事業として、被災地公式視察、エクスカージョン、歓迎レセプションなどが実施されました。



▲ 第3回国連防災世界会議開会式の様子(仙台国際センター展示棟)

「仙台防災枠組2015-2030」とは

防災に関わる国際的な取り組みの指針で、2005年の会議で採択された「兵庫行動枠組2005-2015」の後継枠組として、第3回国連防災世界会議で採択されました。

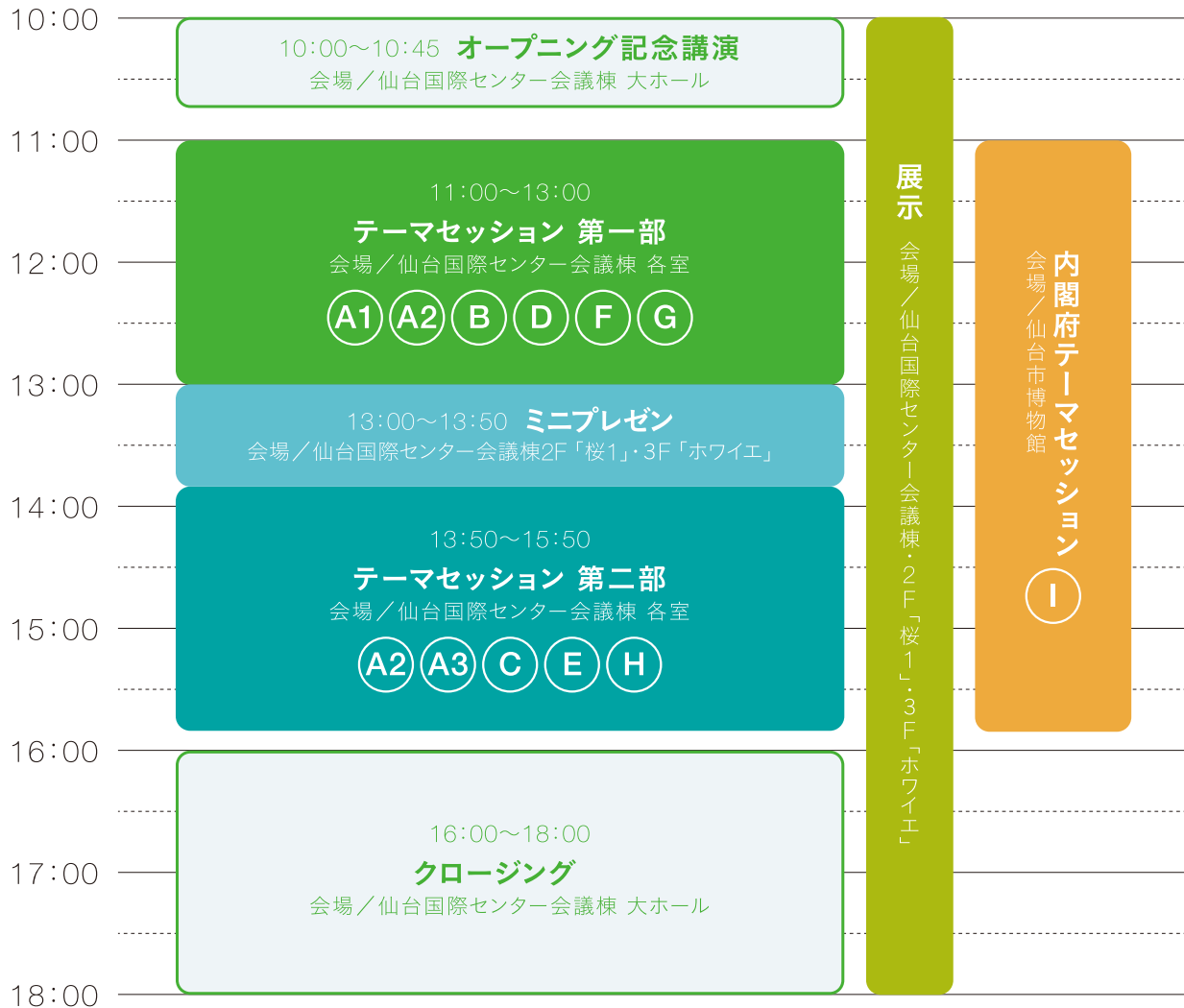
仙台防災枠組では、期待される成果と目標、指導原則、優先行動、関係者の役割や国際協力等を規定しています。枠組の策定にあたり、我が国からも防災投資の重要性、多様な主体の関与、「より良い復興(Build Back Better)」の重要性など提案し、その考え方が枠組の中に取り入れられました。



▲ 第3回国連防災世界会議閉会式の様子(仙台国際センター展示棟)

スケジュール

3月12日(土)



プログラム

オープニング 10:00~10:45 会場/仙台国際センター会議棟 大ホール

同時通訳

挨拶
仙台市長・日本政府(未定)



定員1,000名 申込不要

記念講演
**仙台防災枠組推進における
ローカルアクションへの期待(仮題)**

国連関係者(調整中)より、「仙台防災枠組2015-2030」の意義や、
推進に向けた地域の取り組みへの期待などについてお話を頂きます。



テーマセッション [第一部] [第二部] 会場／仙台国際センター会議棟 各室

多様な主体(マルチステークホルダー)による防災・減災・復興の取り組みや、課題、方向性、将来像等を報告します。

A1

「市民がつくる復興ロードマッププロジェクト」に関するオープンセッション

定員90名 申込不要

11:00～13:00 会場／小会議室1(1F) [主催] 一般社団法人みやぎ連携復興センター

いわて・みやぎ・ふくしまの連携復興センターによる「市民がつくる復興ロードマッププロジェクト」の取り組みの紹介。

【お問い合わせ先】 一般社団法人 みやぎ連携復興センター TEL.022-748-4550 FAX.022-748-4552 beny@renpuku.org

A2

市民の防災枠組 ～マチノワを創るために～

11:00～15:50 会場／小会議室2(1F)

[主催] 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター

定員90名 申込優先

国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」を理解し、団体や市民が自分たちの取組みと重ねあわせ、市民の防災枠組として持続可能なまちづくりを考える場とします。地域団体やNPOによる防災・減災についての事例発表と参加者間のダイアログを通し、地域や組織、活動者をつないでいる中間支援の役割を担う組織とセクターを越えた包括的な仕組みについて考えます。



【お問い合わせ先】 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
TEL.022-264-1281 FAX.022-264-1209 minmin@minmin.org

A3

仙台防災枠組の実施に向けて—海外の災害・ 東日本大震災から生まれた広域復興トークライブ

13:50～15:50 会場／大ホール(1F・2F)

[主催] 一般社団法人みやぎ連携復興センター

定員400名 申込不要

岩手・宮城・福島3県の被災3県の市民による活動である連携復興センターの取り組みのほか、国内における災害支援のネットワークの立ち上げ準備をしている全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)の準備会の動き、国内外の防災・減災に関するアドボカシー活動を行なう防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)の活動紹介と問題提起など、東北復興から生まれた広域復興支援のさまざまな取り組みについて発信します。

【お問い合わせ先】 一般社団法人みやぎ連携復興センター
TEL.022-748-4550 FAX.022-748-4552 beny@renpuku.org

B

東日本大震災からの復興と今後の課題

11:00～13:00 会場／橋(2F)

[主催] 仙台市

定員250名 申込優先

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年。この節目において、行政だけでなく、被災当事者や支援者、他都市からの応援職員といった様々な復興の担い手が、この間の成果や取り組みを共有しつつ、今後の復興の取り組みに向けて、それぞれに求められる役割や抱える課題、連携のあり方などについて、多様な視点で議論します。復興事業に関わる方々はもちろん、このテーマに関心をお持ちの市民の皆様も是非ご参加ください。

【お問い合わせ先】 仙台市震災復興室
TEL.022-214-1266 FAX.022-268-4311 som000300@city.sendai.jp

C

東日本大震災の復興の方向性と 内外への復興発信

13:50～15:50 会場／橋(2F)

[主催] 東北大学災害科学国際研究所、仙台市

定員250名 申込優先

東日本大震災からの復興状況について、岩手・宮城・福島三県から報告いただいたのち、「仙台防災枠組2015-2030」の重要概念の一つ「より良い復興」(Build Back Better)を意識しながら、今後の復興の方向性、課題、これらの国内外へ発信などをテーマに、パネルディスカッションを行います。国際復興支援プラットフォーム(IRP)の国内外の災害復興の知見、東北大学の防災教育や地域防災力向上の経験も交えた議論を行います。

【お問い合わせ先】 仙台市防災環境都市推進室
TEL.022-214-8098 FAX.022-214-8497 mac001605@city.sendai.jp

D

トーク×トーク 女性たちのリーダーシップ2016

11:00～12:30 会場／桜2(2F)

[主催] 仙台市、公益財団法人せんだい男女共同参画財団

定員150名 申込優先

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム「女性と防災」テーマ館では、防災・復興に向けて力を発揮する女性たちの活動を取り上げ、平常時からの地域における女性のリーダーシップの重要性について認識を共有しました。今回は、災害リスク削減に欠かせない要素として仙台防災枠組でも明確に位置付けられた女性のリーダーシップ促進について、仙台・宮城及び福島の女性リーダーの活動や実践事例から、多様なリーダーシップのあり方や、被災地の女性リーダーたちの横のつながりがもたらす効果や可能性について議論を深めます。

【お問い合わせ先】 仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台
TEL.022-268-8300 FAX.022-268-8304 http://www.sendai-il.jp

E

被災地発の防災発信連携の可能性 ～継続・強化に何が必要か

13:50～15:50 会場／桜2(2F)

[主催] みやぎ防災・減災円卓会議

定員160名 申込不要

国連会議開催を機に防災発信を継続・強化することを目指して2015年4月に発足した任意組織「みやぎ防災・減災円卓会議」(研究機関、経済団体、行政、市民団体、報道機関など48団体、83人登録)が1年間の活動を総括し、今後の連携の方向性を討議します。被災地発の震災教訓の伝承と防災啓発の統合的な発信に向けて、必要とされるテーマや基盤作りのあり方について意見を交わします。



【お問い合わせ先】 みやぎ防災・減災円卓会議
TEL.022-211-1121(河北新報社論説委員会) FAX.022-211-1124 entaku@po.kahoku.co.jp

申込優先

…事前申込優先ですが、当日参加も可能です。申込方法については、各主催者にお問い合わせください。

申込不要

…直接会場へお越しください。



F

“Build Back Better” 東日本大震災の経験から、より強い世界へ



11:00～13:00 会場／白樺1(3F)
[主催] 独立行政法人国際協力機構 (JICA)

定員200名 申込優先

JICAでは、2013年11月8日にフィリピンを襲ったサイクロンYolanda (Haiyan)、2015年4月25日発生したネパール地震において、Build Back Better(より良い復興)という戦略の下、東日本大震災を含む過去の日本の大災害の教訓等を踏まえた復興支援を実施しています。本セッションでは防災・復興におけるより良い復興の取り組み、世界で共有される東日本の被災地の教訓について、JICA研修員をパネリストとしてパネルディスカッションを行います。

[お問い合わせ先] 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
TEL.022-223-5152 FAX.022-227-3090 thictpp@jica.go.jp

G

復興に向けて学び、活動した、 学生からの報告

11:30～12:30(予定) 会場／白樺2(3F)
[主催] 復興大学

定員50名 申込不要

復興大学(文部科学省補助事業)は、震災後の「学都仙台コンソーシアム」を構成する大学・短大などを実施主体とした人材の育成、教育環境の改善、被災地域や企業の再生、学生ボランティアの育成を通じて、災害の復興・防災に貢献することを目的に、4つの事業を柱とする取り組みです(①復興人材育成教育コース、②教育復興支援、③地域復興支援ワンストップサービス、④災害ボランティアステーション)。2011年度(平成23年度)より5ヵ年事業としてスタートし、今まで多くの学生が携わったこの事業から、学生たちが実践的に学び活動した事例などを報告します。

[お問い合わせ先] 復興大学
TEL.022-305-3815・3811 FAX.022-305-3890 info@fukkou-daigaku.jp

H

「しなやかな社会」の 情報通信ネットワークを目指して

13:00～15:30 会場／白樺2(3F)
[主催] 東北大学 電気通信研究機構

定員70名 申込不要

東日本大震災では、情報通信ネットワークの寸断により、通信サービスに大きな制約が生じるなど、多大な課題を残しました。東北大学では、この課題解決のため、電気通信研究所が中心となり、電気・情報系の研究者や組織間の連携を可能とする、東北大学電気通信研究機構を2011年10月1日に創設いたしました。自然災害に対して防災力と減災力を高めた「しなやかな社会」の創造に向け、災害に強い情報通信システムの構築を目指した産学官連携研究開発プロジェクトの成果と社会実装への取り組みについてご紹介致します。

[お問い合わせ先] 東北大学 電気通信研究機構
TEL.022-217-5566 FAX.022-217-5566 roec-web@riec.tohoku.ac.jp

I

地区防災計画フォーラム

11:00～15:50 会場／仙台市博物館ホール(1F)
[主催] 内閣府(防災担当)

定員200名 申込不要

災害発生時における被害を軽減するには、公助による取り組みのみならず、自助・共助による取組も重要です。我が国では、地域において防災活動に積極的に取り組んでいますが、昨年度から始まった「地区防災計画制度」を活用して防災活動に取り組む地域がいくつかできています。これらの地域における活動を紹介していくことで、地域における防災活動について検討している地域への気づきや、まだ取り組んでいない地域への防災活動への関心を持つきっかけ作りとして本フォーラムを開催し、地域における防災活動について広く一般国民向けに周知していきます。

[お問い合わせ先] 内閣府(防災担当)
TEL.03-3502-6984 FAX.03-3581-7510



クロージング 16:00～18:00 会場／仙台国際センター会議棟 大ホール

➤➤➤ 総括



定員1,000名 申込不要

フォーラムのまとめ・総括として、それぞれのテーマセッション等の結果の報告をもとに、多様な主体(マルチステークホルダー)による防災・減災の取り組みの今後の方向性と課題などについて参加者で共有します。

ミニプレゼンテーション 13:00~13:50 会場／仙台国際センター会議棟 2F「桜1」・3F「ホワイエ」

展示出展団体や防災・復興関連団体によるプレゼンテーションやミニトーク。事前申し込みは不要です。

1	ESDと防災・減災	[主催] 一般社団法人 地域連携プラットフォーム	2	インド国家災害対応部隊(NDRF)の記録	[主催] 学校法人國學院大學
3	災害から人と地域を守る。 防災環境をつくる。	[主催] 株式会社クボタ	4	宮城県名取市の仮設住宅における支援活動～新しい環境 へ向けてのコミュニティ形成を応援するプロジェクト～	[主催] 尚綱学院大学 ボランティアチームTASKI(たすぎ)
5	地震津波リスク評価および総合的な軽減対応 -産学の連携を通じて	[主催] 東北大学災害科学国際研究所・東京海上グループ	6	地域と連携した学生防災士の活動	[主催] 特定非営利活動法人東北福祉大学防災士協議会Team Bousaisi
7	災害常襲国 日本「道の駅」の果たす役割 -道の駅防災アジェンダ-	[主催] 特定非営利活動法人 人と道研究会	8	「200秒」を想像することで救える命	[主催] 広く告げる会「チーム200秒」
9	東アジアに発信すべき原発の防災対策	[主催] 吉野作造記念館&尚綱学院大学			

※五十音順、9団体

ブース展示等

▶▶▶ ブース展示 10:00~18:00 会場／仙台国際センター会議棟 2F「桜1」・3F「ホワイエ」

自治体・政府系団体、地域団体・NPO、研究機関等によるポスター展示等。

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● アークアース株式会社 ● 雨水ネットワーク東北 ● 一般社団法人アジアパシフィックアライアンス ● 一般社団法人仙台建設業協会 ● 一般社団法人地域連携プラットフォーム ● 一般社団法人宮城県建設業協会 ● 一般社団法人みやぎ連携復興センター ● 井村屋株式会社 仙台支店 ● NECソリューションイノベータ株式会社 ● 大塚製菓株式会社 仙台支店 ● 学校法人國學院大學 ● 株式会社アクアクララ東北 ● 株式会社NTTドコモ 東北支社 ● 株式会社エフエム仙台 ● 株式会社クボタ ● 株式会社フジタ 東北支店 ● 公益財団法人せんだい男女共同参画財団 ● KDDI株式会社 東北総支社 ● 公益財団法人宮城県国際化協会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 高進商事株式会社 ● 国際航業株式会社 ● 国際復興支援プラットフォーム ● 国土交通省 東北地方整備局 ● 国土交通省 国土地理院東北地方測量部 ● 尚綱学院大学放射線研究班 ● 尚綱学院大学ボランティアチームTASKI ● 仙台管区気象台 ● 仙台市震災復興室 ● 仙台市防災環境都市推進室 ● 仙台八木山防災連絡会 ● 創価学会 ● 大平洋金属株式会社 ● 中央労働災害防止協会 ● 東社シーテック株式会社 ● 東北大学学位プログラム推進機構 ● グローバル安全学教育研究センター ● 東北大学災害科学国際研究所 ● 東北大学災害科学国際研究所・東京海上グループ | <ul style="list-style-type: none"> ● 東北大学大学院農学研究所東北復興農学センター ● 東北放送株式会社 ● 特定非営利活動法人アフタースクールばるけ ● 特定非営利活動法人東北福祉大学防災士協議会 Team Bousaisi ● 特定非営利活動法人 人と道研究会 ● 特定非営利活動法人 防災士会みやぎ ● 独立行政法人国際協力機構 (JICA) ● 内閣府 (防災担当) ● 認定NPO法人日本ハビタット協会 ● 広く告げる会「チーム200秒」 ● 三菱電機株式会社 ● 宮城県解体工事業協同組合 ● 宮城県産業復興相談センター ((公財)みやぎ産業振興機構) ● 宮城県図書館 ● リコージャパン株式会社 ● わしん倶楽部 |
|--|--|--|

※五十音順、53団体

▶▶▶ 被災地の女性たちによる手仕事品の販売 10:45~14:00 会場／仙台国際センター会議棟 2F「桜1」

▶▶▶ 災害時対応型EV(電気自動車)の展示 10:45~16:00(予定) 会場／仙台国際センター会議棟前東側駐車場

関連イベント

仙台市及び周辺地域で2016年2月～3月に開催される防災・減災・復興に関するイベントです。イベントの詳細及び参加方法については、各お問い合わせ先にご確認ください。

せんだいメディアテーク

「～3がつ11にちをわすれないためにセンター参加者の記録と活動展示～空白を訪ねる～そこで出会ったことば～」

日時／2015年12月19日(土)～2016年2月28日(日) 会場／せんだいメディアテーク7階 ラウンジ
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

仙台市(共催:宮城県沖地震対策研究協議会、災害に強いコミュニティのための市民フォーラム実行委員会、東北大学災害科学国際研究所)

平成27年度防災シンポジウム・第11回災害に強いコミュニティのための市民フォーラム

日時／2月20日(火) 会場／仙台市太白区文化センター 楽楽ホール
[お問い合わせ先]仙台市 減災推進課 TEL.022-214-3109

東北大学大学院情報科学研究科

情報科学研究科シンポジウム「もしも明日、〇〇が起こったら～「情報科学」から「防災」を考える～」

日時／2月20日(土)13:00～17:00 会場／東北大学大学院情報科学研究科2階 大講義室
[お問い合わせ先]東北大学大学院情報科学研究科

仙台市民図書館、せんだいメディアテーク

としょかん・メディアテークフェスティバル「3.11震災文庫」の展示

日時／2月20日(土)～21日(日) 会場／せんだいメディアテーク
[お問い合わせ先]仙台市民図書館 TEL.022-261-1585

せんだいメディアテーク

-3がつ11にちをわすれないためにセンターの映像上映会-「星空と路」上映室

日時／2月27日(土)～28日(日) 会場／せんだいメディアテーク7階 スタジオシアター
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

せんだいメディアテーク、てつがくカフェ@せんだい

シネマてつがくカフェ「映像作品『波のした、土のうえ』から考える」 ～陸前高田の人々の半生と風景の変化を描写した映像作品をもとに～

日時／2月28日(日) 会場／せんだいメディアテーク7階 スタジオa
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

仙台市

復興コンサートの軌跡パネル展

日時／3月2日(水)～30日(水) 会場／仙台市役所1階 ギャラリーホール
[お問い合わせ先]仙台市 文化振興課 TEL.022-214-6139

特定非営利活動法人 イコールネット仙台

発信!女性防災リーダーの実践と可能性

日時／3月4日(金)13:30～16:00(要予約) 会場／エル・パーク仙台 セミナーホール(141ビル5階)
[お問い合わせ先]特定非営利活動法人イコールネット仙台 TEL.090-1398-5065

仙台市

未来に伝えるふるさとの記憶～わたしたちが語り継いでいく大切なこと～

日時／3月6日(日) 会場／仙台市若林区文化センター ホール
[お問い合わせ先]仙台市 若林区中央市民センター TEL.022-282-1173

東北大学災害科学国際研究所

朗読と音楽の夕べ 東日本大震災の「語りつぐ記憶」

日時／3月6日(日) 会場／宮城学院女子大学 講堂
[お問い合わせ先]東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門災害アーカイブ研究分野 TEL.022-752-2099

せんだいメディアテーク

-3がつ11にちをわすれないためにセンターの写真・パネル展示- 「星空と路」資料室

日時／3月9日(水)～12日(土) 会場／せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

せんだいメディアテーク

定めた点から観て測る～定点観測写真展示～

日時／3月9日(水)～5月初旬(予定) 会場／せんだいメディアテーク7階 ラウンジ
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台

「3.11オモイデツアー」 ～荒浜が好きだからこそ“伝えたい”公開ミーティング

日時／3月12日(土)10:00～11:30 会場／せんだいメディアテーク 7階スタジオルーム
[お問い合わせ先]仙台市市民協働推進課 TEL.022-214-8002

せんだいメディアテーク

考えるテーブル「(仮称)地域から震災アーカイブを考える」

日時／3月12日(土) 会場／せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

せんだいメディアテーク、特定非営利活動法人 20世紀アーカイブ仙台

考えるテーブル「3.11キラクのキロク 公開サロン」

日時／3月12日(土) 会場／せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

一般社団法人仙台市医師会、東北大学ほか

感染症災害にいかに取り組むのか?

～地域レベルにおける感染制御の在り方～

日時／3月12日(土)14:00～16:00 会場／未定
[お問い合わせ先]仙台市健康安全課 TEL.022-214-8029

株式会社ディー・エム・ビー、東北大学災害科学国際研究所 みちのく震録伝(共催:仙台市)

AR HOPE TOUR in Sendai～ARグラス等のウェアラブルデバイス、震災アーカイブデータの利活用、ICT技術を用いた被災地観光・防災教育ツアー

日時／3月12日(土)13:30～15:30(予定)
会場／地下鉄東西線荒井駅 2F会議室～荒浜地区～七郷地区
[お問い合わせ先]株式会社ディー・エム・ビー TEL.022-214-2772

東北大学災害科学国際研究所、東京海上日動火災保険株式会社

(仮称)災害に強いまちづくりへの挑戦～ともに未来へ～

日時／3月13日(日)10:00～12:00 会場／東北大学災害科学国際研究所
[お問い合わせ先]東北大学災害科学国際研究所

東北大学災害科学国際研究所

IRIDeSのこれまでの歩みと未来に向けて

日時／3月13日(日)13:00～17:00 会場／東北大学災害科学国際研究所
[お問い合わせ先]東北大学災害科学国際研究所

一般財団法人自治体国際化協会

JET参加者の震災経験～東日本大震災から5年～

日時／3月13日(日)13:00～17:00 会場／せんだいメディアテーク1階 オープンスクエア
[お問い合わせ先]一般財団法人自治体国際化協会 TEL.03-5213-1727

せんだいメディアテーク、てつがくカフェ@せんだい

(仮称)てつがくカフェ-震災から5年を経たいま、『時を問う』-

日時／3月13日(日) 会場／せんだいメディアテーク7階 スタジオa
[お問い合わせ先]せんだいメディアテーク 企画・活動支援室 TEL.022-713-4483

仙台市

宮城野区防災セミナー

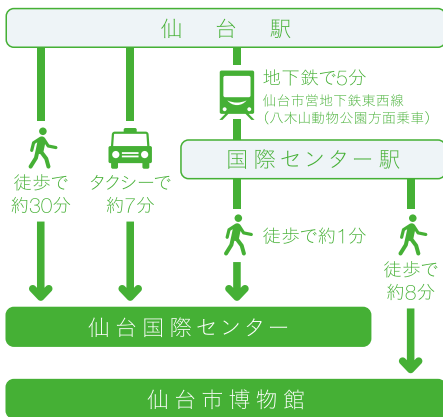
日時／3月16日(水) 会場／宮城野区文化センター コンサートホール
[お問い合わせ先]仙台市宮城野区役所 区民生活課 TEL.022-291-2111

株式会社ディー・エム・ビー、東北大学災害科学国際研究所 みちのく震録伝(共催:多賀城市)

AR HOPE TOUR in Tagajo～ARグラス等のウェアラブルデバイス、震災アーカイブデータの利活用、ICT技術を用いた被災地観光・防災教育ツアー

日時／3月26日(土)9:30～11:30(予定)
会場／東北学院大学 多賀城キャンパス～国道45号線～産業道路方面
[お問い合わせ先]株式会社ディー・エム・ビー TEL.022-214-2772

会場までのアクセス



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。(承認番号 平27情使、第49-GISMAP35459号)

せんだい3.11メモリアル交流館開館のお知らせ



せんだい3.11メモリアル交流館

Sendai 3/11 Memorial Community Center

2011年3月11日。大きな痛みとともに、数々の大切なことを私たちの中に呼び覚ますことになったあの日を起点にして、過去を見つめ直し、今までを振り返りながら、これからとともに考え、語り合い、自由に表現する。せんだい3.11メモリアル交流館は、記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎ出し、未来へ、世界へとつないでいく拠点となります。皆様のご来館をお待ち申し上げております。

- 開館時間 / 平日10:30～17:00、土日祝10:00～17:00
- 休館日 / 毎週月曜(祝・休日場合はその翌日)、祝・休日の翌日(土・日曜、祝休日を除く)
- 所在地等 / 仙台市若林区荒井字畚形85-4 仙台市営地下鉄東西線「荒井駅」内
TEL.022-390-9022
- ホームページ / <http://sendai311-memorial.jp/>

企画展 **分かち持つ記憶** 期間 / 2月13日(土)～5月31日(金)

- 問合せ / 仙台市防災環境都市推進室 TEL.022-214-1117



▲ 左手壁面には仙台市東部沿岸地域のイラストマップ



▲ 震災前の記憶を伝えるスライドショー



▲ 「3.11震災文庫」(震災や地域関連資料など)

イベント情報

一般社団法人 MMIX Lab、仙台市

3.11 未来会議「伝統・文化を伝える！」

日時 / 2月14日(日) 13:00～16:00

RE: プロジェクト、仙台市

暮らしの話を聞く会—女子会編—

日時 / 2月20日(土) 13:30～15:00

チーム「街からの伝言板」、仙台市

「河北」と「神戸」：あれから5年と21年

日時 / 2月21日(日) 14:30～16:30

イベントに関する問合せ: 仙台市市民協働推進課 TEL.022-214-8002 MAIL sim004100@city.sendai.jp

一般社団法人 MMIX Lab、仙台市

3.11 未来会議「アートプロジェクトで伝える！」

日時 / 3月5日(土) 13:00～15:30

RE: プロジェクト、仙台市

間書きって何? 参加者トーク

日時 / 3月19日(土) 13:30～15:00

仙台市

伝える学校の学級会

日時 / 3月21日(月) 10:00～15:30